

校長先生のお話（7／7）

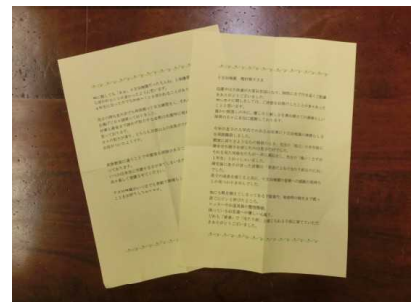
おはようございます。

今日は、二つの話をしたいと思います。まずはじめは、なでしこジャパンの活躍についての話です。昨日は、ワールドカップ準優勝として素晴らしい結果を残してくれましたね。みなさんも、ニュースで見たと思いますが、そのなでしこジャパンの試合中で取っていたある行動について、「凄いな」と感じた事を話したいと思います。



それは、前半終了とともに「走ってロッカールーム」に向かう姿です。ほとんどのチームが、ハーフタイムになると歩いてロッカールームに向かうのですが、彼女たちは、「走って」向かうのです。まさに、高校野球の球児のように。なぜなのか、それは、ハーフタイムの10分間をフルに使うんだという意識を表しているのです。選手達は、このハーフタイムで、アイシングをしたり、後半に向けての監督からの指示やミーティングをしたりしています。この時間を充分に使うには、走って戻る事でしかなのです。これは、佐々木監督の発案だそうですが、それを受け入れるメンバーの代表としての意識の高さを感じますね。余裕の時間が、たかが10秒、1分かもしれません。しかし、それを生み出そうという意識をみなさんも、是非、覚えていただきます。

もう一つのお話は、先日まで川本中で教育実習を行った実習生からの手紙からです。そこには、実習で感じたことが書かれていて、教員をめざしたいという気持ちとともに、「生徒を大切にしている指導について肌で感じられて良かった。」という言葉がありました。この言葉は、みなさんを指導する川本中の先生方が、みなさんを大切にしていることを言っているのですが、しかし、先生方が、このような指導をするその裏側には、「先生方が生徒のみなさんの素直さを認めている。」からなのです。そして、先生方をこの様な気持ちにさせる生徒がいる、川本中は、本当に素晴らしいと思います。



今、毎日梅雨の天気が続いていますが、さわやかで、清々しい学校をこれからも作るために、全校生徒のみなさん一人一人が、頑張ってもらいたいと思います。

終わりに、今日夕方、なでしこジャパンが、成田に戻ってくるそうです。彼女たちに、おめでとうの心からの拍手を送りましょう。そして、これからのみなさんの生き方の参考としてください。

以上です。ありがとうございました。